演習Ⅰ

担当者 西嶋　淳

開講時期 通年　　**単　位** 4

●講義の概要

地域における具体的な社会・経済事象を題材に取り上げ、経済学的視点を中心に調査、実証分析、討論などを行うことにより、問題解決型の思考方法の習得を目指します。

●講義の到達目標

研究テーマに関する文献・資料の検索・収集・整理など修士論文の作成に必要な基礎的研究能力を習得します。調査、実証分析などの実践により、経済分析手法の基本が理解できるようになるとともに、これらについての討論などを通して問題解決型の思考習慣を習得することを目標とします。

●講義計画

第１回　　「演習Ⅰ」の内容と進め方
第２回　　研究計画（年間）案の確認とテキストの決定
第３～14回　テキストの講読及び関連研究のサーベイとディスカッション
第15回　　前期の小括
第16回　　後期研究計画の確認
第17～21回　受講生の関心の深いテーマに関する文献研究とディスカッション
第22～29回　受講生の関心の深いテーマに関する事例研究とディスカッション
第30回　　「演習Ⅰ」の総括

●成績評価基準と方法

①評価方法

発表・討論（50%）、期末レポート（50%）により評価します。

②評価基準

・修士論文の作成に必要な基礎的研究能力を習得しているか。
・経済分析手法の基本を理解しているか。
・問題解決型の思考方法により社会、経済事象に関する問題点を適切に説明できるか。

●テキスト又は参考文献

―テキスト―
受講生と相談のうえ選定します。
―参考文献―
講義中に適宜指示します。

●受講上の留意点

・指示に従い、講義時に円滑に報告･討論ができるようにレジュメ等を準備して下さい。
・積極的に調査、実証分析などに取り組むことを期待します。